

<講義コード> 5557201

<開講学部> 経済情報学部経済情報学科

2018年度

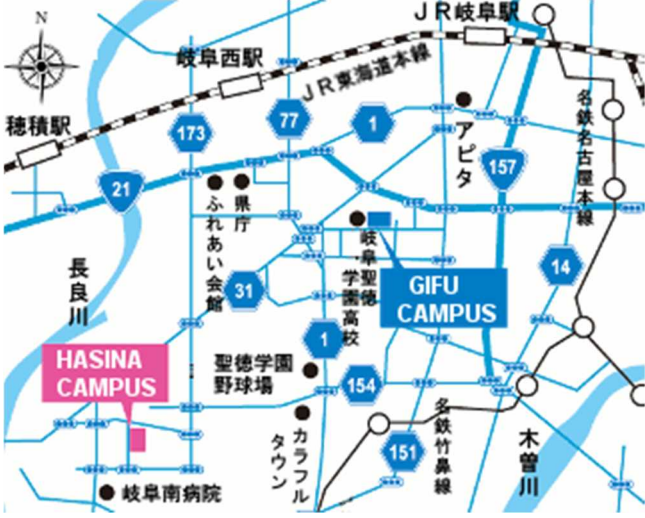
科目名	グローバルマネジメント	単位	講義区分	担当教員	河野 公洋
	2単位	講義			
期待される学修成果	社会事情に対応する応用力 情報の分析に関する力 ナンバリング EI3BUA312				
到達目標及びテーマ	グローバル・マネジメント&ビジネスの基本的な知識と具体例の習得を目標とする。				
授業の概略	企業は、大競争時代を迎えたと言われて久しいが、経営のグローバル化に伴い、経営面でどのような問題に直面し、国際的に適応しているのか。歴史的な経緯を踏まえて、アジア、欧米主要国の経営風土・組織と経営システムを国際比較しながら、基本課題につき企業行動や経営戦略を具体的に分かりやすく解説する。また、中国の世界工場化と世界の市場化、日本産業の空洞化、アジア地域での産業協力と棲み分け、リストラ、国際戦略提携とM&A、IT革命と日本のシステムの変革、知識創造マネジメントと知の国際移転など重要な課題にも具体的に最近の企業事例で概説する。				
授業計画					
第1回	国際経営論の学び方 ガイダンス、企業の国際化とは何か？				
第2回	現在の国際経営の環境(国際市場経済統合化(EU, NAFTA, AFTA他)等)				
第3回	グローバル・マネジメントの歴史				
第4回	グローバル大競争時代における現代企業の基本戦略				
第5回	多国籍企業の戦略と組織の展開				
第6回	グローバル・マーケティング戦略				
第7回	異文化インターフェイス経営の現状と課題				
第8回	国際合併事業と異文化融合(ハイブリッド)経営				
第9回	グローバル・スタンダード(世界標準)経営の動向と「日本型経営の進化」				
第10回	日本企業のグローバル化と経営技術移転をめぐる諸問題				
第11回	アジア市場への参入戦略と産業協力				
第12回	「経営の現地化」とグローバル化				
第13回	国際戦略提携とM&A(日・米・欧比較)				
第14回	人事管理・人材育成のあり方				
第15回	国際財務管理の課題				
	定期試験				
事前学修	2時間	日本企業のグローバル化と経営技術移転をめぐる諸問題について自分なりの考えをまとめておくこと。			
事後学修	2時間	毎回の講義を復習しておくこと。			
成績評価方法	割合	評価基準等			
定期試験	60 %	筆記試験			
レポート	20 %	マナログで、理解度チェックや小テストを何度か行う。			
上記以外の試験、平常点評価	20 %	出欠はマナログで行う。			
教科書	中間レポート、定期試験及び出席票を兼ねた小テスト/ミニレポート等を総合して評価する。(試験60%、レポート40%) 定期試験では参考文献等の持込みを認めない。(詳細は試験前に掲示)				
参考資料	特に定めない。適宜指示する。ノートのとり方に注意すること。				

(この書式はシラバスとセットにします)

岐阜聖徳学園大学 グローバルマネジメントの受講を希望するコンソーシアム加盟校の学生に向けて

後学期授業期間	2018年9月24日から2019年1月18日まで
時間割	毎週木曜日 3時限目 13時10分開始 14時40分終了
授業の回数	15回
初回の授業日	2018年9月27日
備考	初回以降の授業のお知らせは学内の掲示板で行います。

授業が受けられる教室

対面授業の教室 (実際の教室)	
キャンパス	岐阜キャンパス
教室	3号館310講義室
住所	岐阜市中鶉一丁目38番地
地図	
交通アクセス	名鉄岐阜駅前(1番のりば)発→JR岐阜駅(6番のりば)経由→岐阜キャンパス(最寄停留所:六条大溝町) 名鉄岐阜駅前(2番のりば)発→JR岐阜駅(4番のりば)経由→岐阜キャンパス(最寄停留所:東鶉または岐阜保健短大前)
備考	

授業を開設する大学について

ホームページ	http://www.shotoku.ac.jp/
授業についての質問はこちらへ	岐阜教務課 (058-278-0731)